

令和6年度中川区区民会議

意見収集の場「なかが話」報告書



中川区役所

目 次

中川区区民会議 意見収集の場「なかが話」	1
----------------------	---

令和6年度「なかが話」開催日時等

意見収集の場「なかが話」実施報告	2
------------------	---

当日の流れ	2
-------	---

Aグループ	5
-------	---

Bグループ	9
-------	---

Cグループ	12
-------	----

Dグループ	15
-------	----

参加者アンケート結果	19
------------	----



中川区区民会議 意見収集の場「なかが話^わ」

中川区では、区民の皆さまの区政への参画を推進し、区の将来の方向性等に関し、ご意見をいただくため、学区区政協力委員会委員長及び各種団体の長の皆さまからなる「区民会議」を開催しています。

また、区民会議の開催にあたり、さまざまな年代・立場の方々から、より多くの意見を聞く場として「なかが話」（中川区の将来について話し合う場）を開催しています。

今年度の『なかが話』では、「中川区の良い所や伸びしろ」について、少人数に分かれて話し合っていました。

令和6年度「なかが話」開催日時等

◆日 時：令和6年11月3日（日） 9時30分～12時00分

◆会 場：中川区役所 講堂

◆参加者：28人

- 区民会議構成員から推薦された区民16人
- 区内3高校（県立中川青和高等学校、市立工業高等学校、市立富田高等学校）の生徒12人

◆ファシリテーター：5名

- メインファシリテーター 1名：パブリック・ハーツ株式会社 代表取締役 水谷氏
- グループファシリテーター4名：まちづくりびと※
※まちづくりに関心を持ち、積極的にまちづくり活動に取り組む人材。
（公財）名古屋まちづくり公社 名古屋都市センターで開催しているまちづくり講座を受講することで、「まちづくりびと」として登録される。

◆テーマ：中川区盛り上げ隊!～楽しいコトを考えよう～

- Aグループ 参加者：7人
- Bグループ 参加者：7人
- Cグループ 参加者：7人
- Dグループ 参加者：7人



意見収集の場「なかが話」実施報告

当日の流れ

◆あいさつ 午前9時30分～

- 主催者を代表して中川区役所企画経理課長より、今回の参加者の皆さまへお礼と企画の主旨を伝えました。
- ファシリテーター挨拶…進行役のパブリック・ハーツ（株）水谷氏より、「なかが話」のねらい、進め方、お願いを伝えました。



◆情報提供 午前9時35分～

- 企画経理課長より、中川区の概要や特性について、情報提供を行いました。



◆アイスブレイク 午前9時45分～

- 4つのグループに分かれ、グループファシリテーターの進行により自己紹介を行いました。
- つぎに、参加者の緊張をほぐすために、「中川区 見所神経衰弱!」というチーム対抗のゲームを行いました。
- チームで協力してゲームに取り組むことで、参加者の皆さんには、リラックスいただき、また日常生活から、今回のテーマに頭を切り替えていただくことができました。



◆グループワーク 午前10時00分～

- はじめに、中川区の良い所や伸びしろを、個々に付せんに記入しました。
- 個々の付せんを紹介しながら、意見を共有したうえで、“中川区のキャッチコピー”を考えました。
- キャッチコピーをもとに、それを実現するための具体的な取り組みを考えました。



◆全体発表 午前11時20分～

- ・ 各グループの代表者から、3分以内でグループワークの内容が発表されました。



Aグループ



Bグループ



Cグループ



Dグループ

◆おわりに 午前11時55分～

- ・ 企画経理課長よりお礼と今後に向けた言葉を述べ、閉会の挨拶を行いました。
- ・ 最後に集合写真を撮影し、アンケートを記入いただき、終了しました。



中川区盛り上げ隊!

～楽しいコトを考えよう～

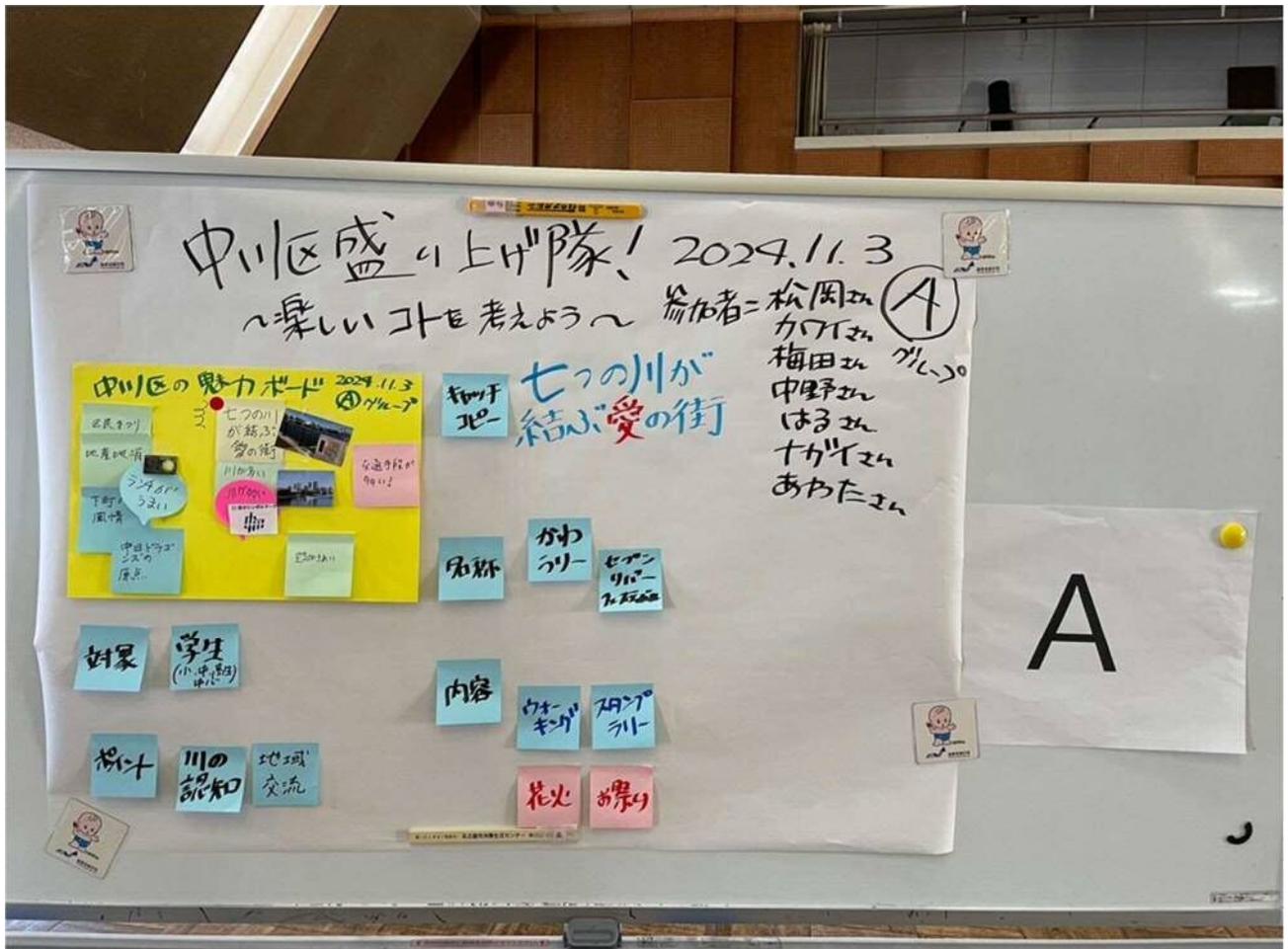
「中川区の良い所や伸びしろ」について、議論をしました。
(掲載内容につきましては、趣旨が変わらないように、内容を一部修正しております。)

Aグループ

「七つの川が結ぶ愛の街」

中川区は川と縁が切れないまち。区内に流れる7つの川をめぐるウォーキングイベントや、若者が気軽に参加できるスタンプラリーを開催し、中川区の代表的な魅力である川を起点として区を盛り上げていく。

成果物の写真



<話し合った内容>

「中川区の良い所や伸びしろなどについて」

【グルメ】

- ・ランチがおいしいお店がたくさんある、最近はテレビでも特集されることが増えた。

【自然】

- ・川や自然が多いから、空気がきれいだと思う。

【区内を流れる川について】

- ・ボートの練習を川下の方だけではなく、もっと上流（中川区内）でもやってもらって、公開練習をお願いする。
- ・熱田区の親水広場という川岸できれいな広場がある。中川区でもそういう広場をつくって、子ども向けのイベントをやれたらいい。
- ・船着き場があるところなら、大規模じゃなくても、子どもを集めて川に関する遊びができるのではないかと。学校にも協力してもらえば、人がたくさん集まる。
- ・庄内川や新川は中川運河に比べると魅力があまりない気がする。
→庄内川沿いにまだ整備できる土地がたくさんある。野球やサッカーのグラウンドで学校や団体が利用しているが、もっと整備していけば、学校の誘致などにもなるのでは。
- ・庄内川沿いの新前田橋の辺りは、昔はコスモスがたくさん植えてあって、綺麗だった。
- ・一色大橋のところには、昔は水浴場があった。
あの辺りはシジミがとれるから、昔はシジミの佃煮屋さんもあった。

【中川運河】

- ・中川運河は昔に比べるとずいぶん水質がきれいになっている。
- ・中川運河は流れがないから、一部を囲って、貸しボードなどをやると面白い。
親子でカヌーイベントなどもやればいい。
- ・昔は運河沿いで材木問屋がたくさんあった。名古屋、秋田県の能代、和歌山県の新宮で日本3大木都と言われていた。
- ・運河でプロジェクションマッピングをする。
- ・パリのセーヌ川でやれたのだから、中川運河でトライアスロンするのも面白い。
- ・昔は、中川運河で中川運河まつりをやっていた。当時は花火もあがっていて楽しかった。
また、そういうおまつりがあれば若い人もたくさんやってくると思う。

【おまつり】

- 今年は今魚祭りが盛り上がった。一昨年は中止、去年は開催時期が例年と違う時期だった。後輩たちが実行委員会で一生懸命やっている。そういう祭りをどこの地域でも増やしていけるといい。
- 区民祭りが楽しみ。年をとっても、童心に戻ったような気持ちで遊べる。
- 地産地消フェア、野崎白菜、高校生が出店するブースなどが魅力的だと思う。

【その他】

- 下町の風情がある。
- ナゴヤ球場がある。

【課題】

- どんぐり公園等の公園は草がぼうぼうに生えていて、小学生も遊びに来ないというところがたくさんあるから、整備してほしい。
- ハザードマップをみると、中川区は土地が低く、水害のリスクが高いということがよくわかる。



「具体的な取り組みについて」

★7つの川をめぐるスタンプラリーイベント

小中高生は中川区に7つも川があることを知らない、まずは川を知ってもらうためにスタンプラリーを行い、全てまわったら景品を用意する。

東西に広く、一人で全てを回ることが難しいため、リレー形式でつないでいくことで、地域の交流が深まる。

イベント期間は年単位で長期スパンにすることで、参加者に負担をかけない。

★セブンリバーフェスティバル

中川運河沿いで昔のようにおまつりや花火を行う。

他にも子供に紙の船を作ってもらい、それを流すイベントや川沿いを歩くウォークラリーイベントを実施する。



キャッチコピーが特定の対象ではなく、どの世代にもささるもので素敵だと思いました。



生まれも育ちも中川区だけど、区内に7つも川があることを知らなかった。キャッチコピーでもそれが伝わるし、イベントがあれば楽しく7つの川を学べると思う。

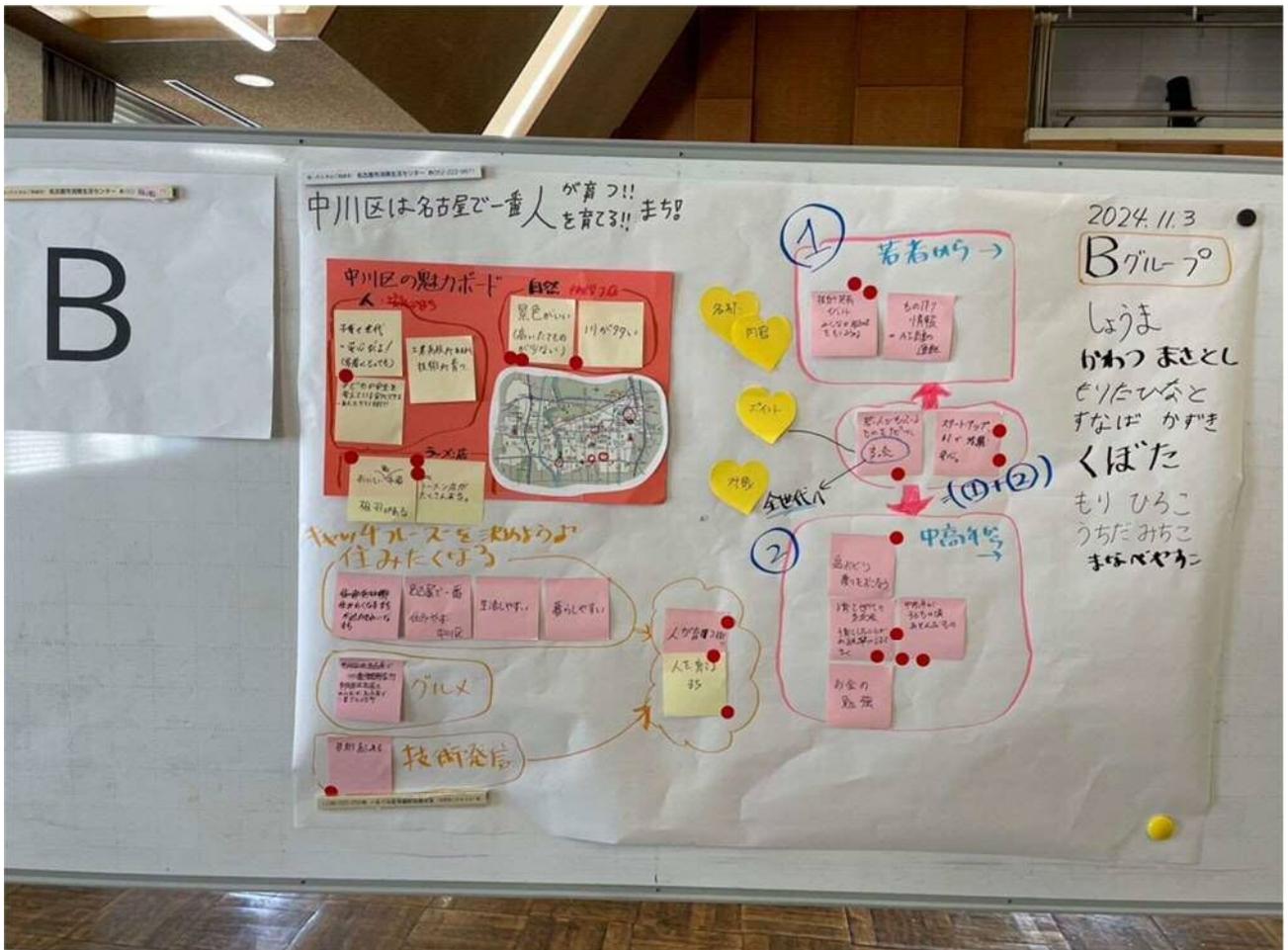


Bグループ

「中川区は名古屋で一番 人が育つ・人を育てるまち！」

若者によるAI・自動運転などの新しい技術を共有・発信するイベントの実施、年長者の経験の共有（まつり・子育てなど）を行い、区内で人が交流し育つまちをつくる。

成果物の写真



<話し合った内容>

「中川区の良い所や伸びしろなどについて」

【安心・安全】

- 一色大橋周辺は車通りが多いが、交通整理をしている人がたっているので、小学生も安心して通学できる。子どもの安全を考え、安心できるまちだと思う。

【子育て】

- 子育ての交流会をやってほしい。
- 子育てしている人だけでなく、子育てしたことがある先輩に話を聞ける機会があると不安が取り除かれて、親たちも住みやすいまちになると思う。
- 子育て世帯は孤立する傾向がある、外出する事を子どもが嫌がったり、家事などで、出ていく気力が湧いてこないため。

【自然】

- 景色がいい。
- 川が多い。
- 天気がいいと、伊吹山や御岳山が見えて、夕日も綺麗。
- 新前田橋のあたりは、秋にコスモスがたくさん咲いて綺麗。
- 荒子川周辺は桜並木が綺麗。
- 公園と川が多い。

【運河関係】

- 中川運河も最近いろいろイベントをやっていて、栄えてきている。
- 川の周りは景色もいいし、楽しめる施設が多い。

【技術】

- 工業高校があるから、技術が育つ。

【グルメ】

- 美味しい中華料理のお店がある。
- ラーメン屋さんが多い。

【どんなまち】

- 住みたくなるまち
- 名古屋で一番グルメなまち
- 水辺が綺麗なまち
- 安心して子育てできるまち
- 技術が育つまち
- 自然豊かで、景色も良く、川が多いから、子どもが健やかに育つまち
- おいしいラーメン屋や町中華が多いので、いっぱい食べて体が丈夫になるまち
- 生活しやすいまち



【課題】

- 中川区に一番欠けている部分は若者や子育て世帯が、ここに行って住みたいなと思われていないということだと考える。

具体的な取り組み

★全世代交流型のイベント

若者向けの技術共有イベント（ものづくりの情報、AI自動運転技術など）

シニアの方々が昔の文化・遊びを広めるイベント

子育て世帯が、パパママ先輩と触れ合えるイベント

各種イベントを同じ場所で行う事で、あらゆる世代が交流する。

そうすれば地域の交流が活性化されて、人が育つ、人を育てるまちになる！



古い文化や子育て、AI などバラバラなようなことを一つにまとめることで人が育つ、明るいまちづくりをしていくことが大事！

中川区の自分の知らないところをたくさん聞けたので、とても楽しかったです。



Cグループ

「バリエーションが豊かな 思い出のまち！！」

前田利家ゆかりの地のPR（歴史）、地域のまつり活性化（文化）、オーケストラ結成（音楽）、水害などへの対応（防災）といった活動を行い、住む人の思い出に残るまちをつくる。

成果物の写真



<話し合った内容>

「中川区の良い所や伸びしろなどについて」

【自然】

- 戸田川にはカワセミがいる。
- 高畑公園や八田公園は、春になると桜が綺麗に咲く。
- 昔に比べると、川が綺麗になった。

【公園】

- 大きい公園が多い（富田公園、荒子公園、露橋公園など）。

【景観】

- 中川運河から名古屋港シートレイランドの観覧車が綺麗に見える。
- 趣のある家や道が多たくさんある。
→散歩が楽しい。昭和の家や瓦の家屋、今はどんどん壊されているけど、中川区にはまだたくさん残っている。
- お寺が多い。

【おまつり】

- 中川区はまつりがたくさんあるけど、地域内だけの広報ばかりで、大々的にはおこなっていない。

【歴史】

- 利家や戸田まつりなど歴史的な魅力がある。
- 前田利家が家康くらい有名ならよかったけど、少し弱い。松さんの方が有名な気がする。
- 中川区の歴史と言えば、前田利家関係だが、学校の授業でもあまれ触れられないから、若い人はあまり関心が湧かないのでは。松さんの方が人気なイメージがある。

【どんなまち】

- 多彩な文化がある、色々なものが混同したまち
- 歴史と自然が豊かなまち
- 交通機関が豊富で、坂が少なく物価が安い、住みやすいまち

【オーケストラ】

- 中川区にオーケストラが欲しい、学生時代吹奏楽をやっていても、大半の人は卒業したら終わり。そういった人たちが続けれる場所や機会を提供したい。
- 今は学校でも吹奏楽部が少なくなっている。興味があるけど、やれる機会がないという人にとっても良いのでは。

【課題】

- 中川区は、土地が低いから、水害のリスクが高い。



具体的な取り組み

★前田利家をもっと有名に（歴史）

若い世代は、中川区が前田利家生誕の地であることを知らないし、前田利家のことをあまり認知していない。学校の授業でもあまりでてくる印象がない。だから、前田利家のことを若い世代にもっと知らしめていく取り組みを行っていく。利家ロードや前田速念寺をもっと宣伝していく。

★祭りを活発に（文化）

中川区は各地でおまつりがたくさんあるけど、あまり知られていない。古くからある伝統的なおまつりから、地元の身近なおまつりまで様々なおまつりがある。地元だけでなく大々的に宣伝し、各地のお祭りを活発にしていく。

★防災、水害対策（防災）

中川区は土地が低いから、垂直避難が可能な住居に住んでいる人に、恩恵が与えられるようにする。そうすれば人が集まってくる。

★中川区オーケストラ結成（音楽）

学生時代に吹奏楽をしていたが辞めてしまった人、興味はあるけど経験がない人、年齢性別を問わず、幅広い人が交流できるようなオーケストラを結成する。文化小劇場などを拠点に練習を行って、演奏会を開催し地域を盛り上げる。



高校生の発表に、地元の方が上手くフォローしていて、すごくいいチームワークだった。

防災対策、垂直避難。実現したら本当に良いと思います。究極の自助、共助、公助ですね。

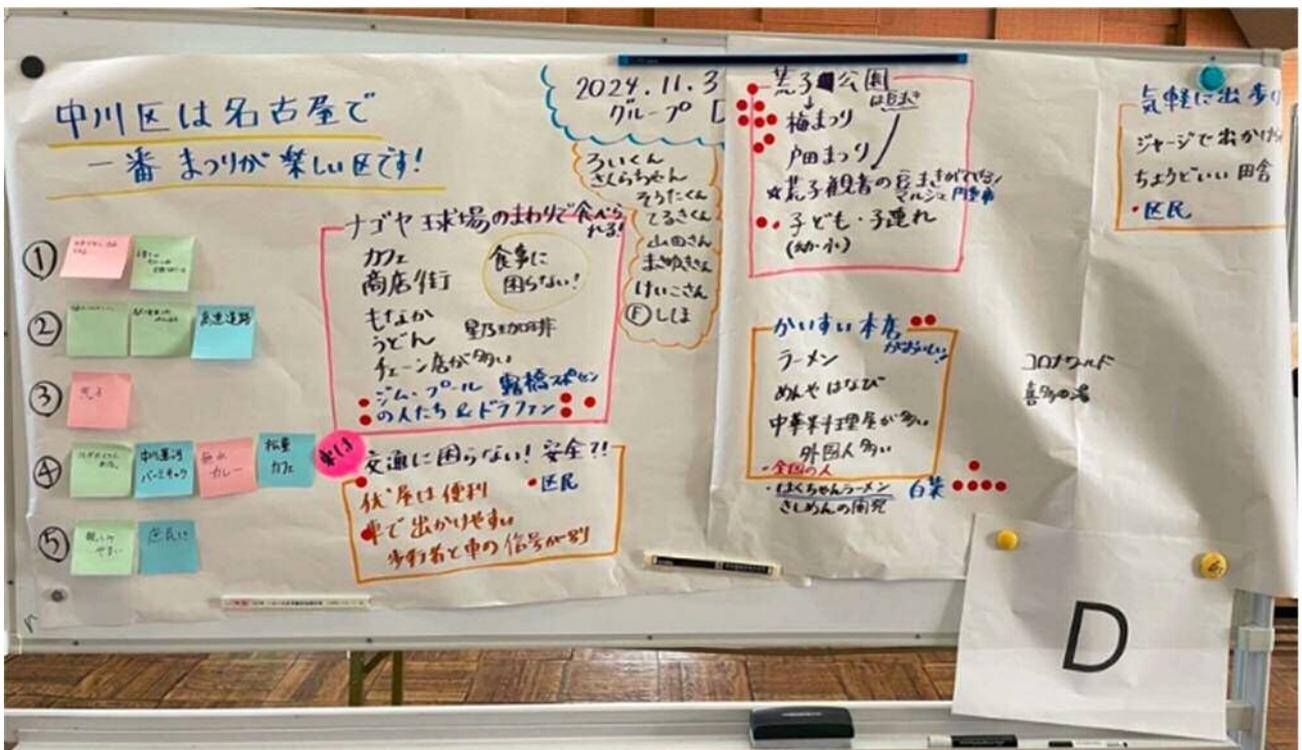


Dグループ

「中川区は名古屋で一番まつりが楽しい区です！」

地域に根付いたまつり、歴史を感じる名所、お値打で美味しい町中華といった、気取らず気軽に立ち寄れる魅力が多くあり、それらをさらに伸ばして区を盛り上げていく。

成果物の写真



<話し合った内容>

「中川区の良い所や伸びしろなどについて」

【子育て】

- 子どもが多く、子育てサポートがたくさん実施されているイメージ。

【自然】

- 川が多い。
- 昔に比べると川の水は断然綺麗になっている。
- 西部にはイタチやハクビシンが出没する。

【グルメ】

- 不朽園のもなか本店がある。
- うどんと味噌カツが有名な葉栗屋がある。
- 飲食チェーン店がたくさんある。
- うどん屋さんが多い。
- 中華料理屋のかいすいが美味しい。
- ラーメン屋さんや中華料理屋が多い。
- 野崎白菜を使ったはくちゃんラーメンを推したい。



【おまつり】

- 一色まつり、梅まつり、戸田まつり、金魚まつり、区民まつり、その他にも各地でたくさんおまつりがある。
- おまつりはちょっとずつ増えている、今年の春に野田学区で春まつりを高畑公園で開催した。
- 高校の学園祭で来た人をそのまま区内のおまつりに呼び込めるようにしたら、地元のおまつりも来場者が増えて、盛り上がる。

【荒子観音】

- 今は自宅で豆まきをやらない人たちが増えているから、荒子観音の豆まきをもっとPRするといい。
- 荒子観音で、第一日曜日に荒子円空市というマルシェが開催されているから、そういうものもPRするといい。

【文化】

- 下野一色の辺りは、昔市電が走っていたし、映画館や銭湯もあった。そういう昔の文化も伝えていけるといい。

【マスコットキャラクターナッピー】

- ナッピーは小学生や広報なごやを読む世代にはある程度認知されていると思うが、高校生にはあまり知られていないと思う。もうちょっと広報してほしい。

【景色】

- 松重閘門は夜になるとライトアップされて、おしゃれな景観だと思う。

【どんなまち】

- 交通の便がいいまち
- 親しみやすい、庶民的、住みやすい
- ジャージで気軽に出歩けるまち、気張る必要がないまち

【その他】

- バーミキュラがある。
- ナゴヤ球場がある。
- 八田駅は総合駅だから、もう少し発展できないのか。
- 西は田舎で、東は栄えているイメージ。
- 中川コロナワールドはボーリング、映画、カラオケ、ゲームセンター、銭湯などがあり家族で一日楽しめる。
- 特徴がないというのが特徴だと思う。

具体的な取り組み

★新しいまつりを作る

音楽やゲームを取り入れたりして若者の興味を引くようなおまつり。

★まつりを盛り上げる

高校の学園祭とコラボレーションしたりして、地元のおまつりにたくさんの人を呼び込む。

★グルメ推し

ナゴヤ球場の周りは美味しいご飯屋さんがたくさんあるし、かいすいやはくちゃんラーメンなどの町中華グルメも豊富だから、中川区のグルメをもっと推していく。



地元のおまつりに高校生と一緒に協力するのは非常にいいと思う。

キャッチコピーが楽しそうで、中川区に行ってみたくなる！

メインファシリテーター所感

今年度の「なかが話」には、12名の意欲的な高校生が参加してくださり、普段から地域活動をされている大人の方々と「楽しいコト」を考えていただきました。

最初は緊張していた高校生の皆さんも、徐々に打ち解け、最後の発表では沢山のアイデアを面白おかしく紹介して、場を盛り上げてくださいました。

地域の担い手不足と言われる昨今ですが、今回、実は大人も高校生も、地域でのつながりを求めていることが分かりました。

お祭りや運動会、防災訓練などの企画運営時に、地元の高校生や中学生をお誘いするくとして、もしかしたら、これまでになかった取り組みが生まれるかもしれません。

地域を熟知する方々の懐で、高校生の皆さんののびのびと自由にそのパフォーマンスを発揮したら、いったいどんなことが起こるのか、期待が高まるばかりです。

今後の中川区のまちづくりのあり方が見えた素晴らしい場だったと思います。

後記

それぞれのグループで、約2時間半、熱心に話し合ってくださいました。

話し合っていた結果は、区民会議の場で報告させていただき、区民会議構成員の皆さまと意見交換を行い、今後の区政運営に役立ててまいります。

ご参加いただいた皆さん、どうもありがとうございました。

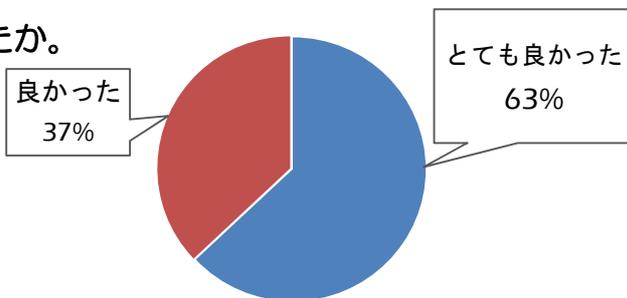


令和6年度中川区区民会議意見収集の場「なかが話」参加者アンケート

開催日：令和6年11月3日（日）
 参加人数：28人
 回答者数：27人

1 本日の「なかが話」はいかがでしたか。

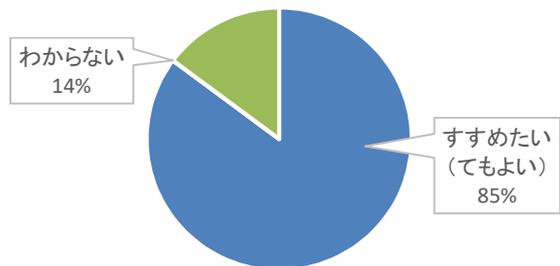
とても良かった	17人
良かった	10人
あまり良くなかった	0人
良くなかった	0人



- 年齢層の違う方やいろいろな地区の方との交流がとても新鮮でした。
- 自分の知らなかった中川区をもっと知ることができた。
- 区のことを考えられる貴重な機会だった。
- 皆でつくり上げる感じが良かった。
- 普段考えもしない事を意見しあえて楽しかった。
- あまり気乗りしていませんでしたが、参加できて良かった。
- 日頃、思っていることを発言できて良かった。
- 若い人が多く、その考えをきけた。

2 来年度以降も「なかが話」を開催する場合、家族や友人にもおすすめしたいと思いませんか。

すすめたい（てもよい）	23人
すすめたくない	0人
わからない	4人



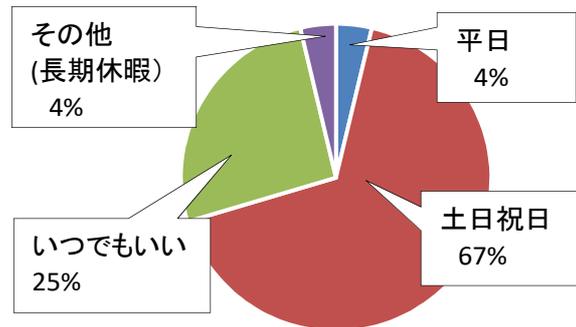
- 区のことをもっと詳しく知れる、もっと区のことを愛せると思ったから。
- 知らなかったこと、知っていることを伝えあうことができる。よりよい中川にできると感じた。
- 新しい体験としておすすめしたい。
- 前向きな雰囲気がいい。
- より中川区に関心のある方にすすめたい。
- 若い人たちとの意見交換ができる。

3 様々な年代の方が垣根を越えて、意見を出し合う場合、どのようなテーマなら、皆さんの関心をひくと思いますか。

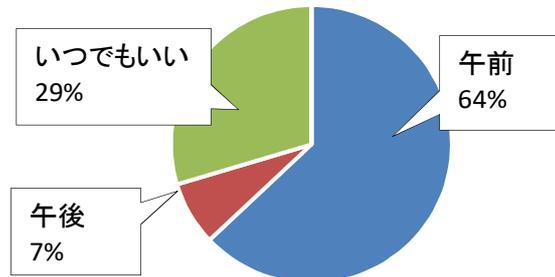
- 中川区にこんな施設がほしい。
- 年齢に関係なく関われるテーマ
- 災害に関して
- 抽象的ではなく、具体的なテーマにもう少ししぼってほしい。
- 地域のスポーツなど
- 祭りなど皆が楽しめるイベント
- 食について
- 若い世代、子育て世代、お年寄り世代が望む「魅力ある地域」とは

4 来年度以降も「なかが話」を開催する場合、参加しやすい曜日や時間帯がありましたらお書きください。

【曜日】	
平日	1 人
土日祝日	18 人
いつでもいい	7 人
その他	1 人

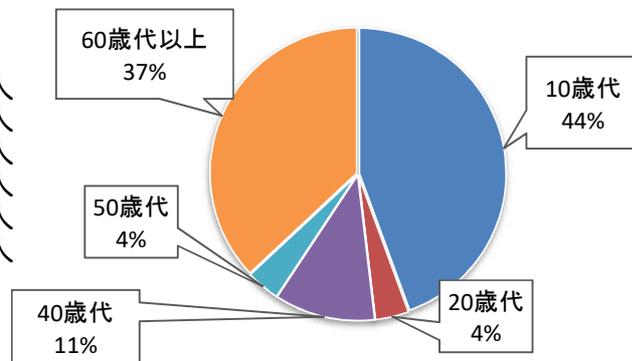


【時間帯】	
午前	17 人
午後	2 人
いつでもいい	8 人
その他	0 人



5 あなた自身についてお答えください。

〇年代	
10歳代	12 人
20歳代	1 人
30歳代	0 人
40歳代	3 人
50歳代	1 人
60歳代以上	10 人



6 本日の意見交換の中で話し合われた内容についてご意見やお気づきの点がございましたら、ご記入ください。

(1) アイスブレイク「中川区 見所神経衰弱！」について

- ・緊張がほぐれたので良いと感じた。
- ・中川区の知らなかった名所を知ること、次の話し合いも進めることができた。
- ・あらためて中川区のことを思い出せるいい機会でした
- ・神経衰弱は楽しかったし、おかげでみんなが打ち解ける事ができた。
- ・神経衰弱より、お互いに話すゲームなどをやれば、よりアイスブレイクにつながったと思う。

(2) 個人ワーク「中川区の良いところや伸びしろってなんだろう？」について

- 普段あまり考えないので、なかなか難しかった。
- よい内容だった。問題、課題から→良い所
- あらためて良いところに気づけた。
- 自分が思うだけでなく、他の方の意見がとても新しく、良い視点でした。
- 資料などがあれば良かったなと思いました。

(3) グループワーク「楽しい取り組みを考えよう」について

- 高校生の若い人たちが活発に意見を発表していた。
- 自分の気づけなかったところに気づけたのが良かった。
- 他の方とのコミュニケーションや、大人の方から聞く昔から伝統など、新しい知識がとてもたくさんあり、勉強になりました。

(4) 全体発表について

- 高校生中心で良かった。
- 他のグループも似たりよったの印象を受けた。
- 各グループで中川区の良い所がたくさん出ていました。
高校生が中心となった発表にも協力できて、良い経験になりました。
- 他のグループの発表をきくことが楽しかったです。

(5) その他お気づきの点について

- 高齢の方が中心となって、昔の話や現在の事情について多く話されていたので、年代別に分けて、各年代が考える良いところ、伸ばすところがわかるとおもしろいと思いました。
- おまつりがあるとき、高校にもっと連絡してほしい。
- 子育て世代、各年代層からの構成も必要かと思いました。
- 全体的に良かった。